

令和6年度 小林市立紙屋中学校 学校関係者評価書

4段階評価		4 期待以上	3 ほぼ期待通り	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
学校の経営ビジョン	「生徒を大切にし、誰ひとり取り残さない教育の推進～ No one will be left behind ～」 ①「自立（自分で生きる力を身につける）と自律（自分の意志をもって行動する）を意識した教育」 ②「ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性を受け入れ、個を伸ばす）を意識した教育」 ③「ウェルビーイング（精神的にも肉体的にも社会的にも全てが満たされた状態）と心理的安全性（自分の意思を安心して表明できる）を意識した教育」を通して、生徒が通いたい・保護者が通わせたい・地域が応援したい学校づくりをめざす。				
項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	1 ESDの視点に立った学習指導や学校行事の計画【ESDで培いたい6つの価値観を取り入れた8つの実践】	今年度、学校の教育活動全般にESD（Education for Sustainable Development）の視点を盛り込み、視野を広げつつ持続可能な学びを実現する取組を行った。年度初めに教育課程を整理して無理のないよう組み込んだため、新しく取り入れた多くの活動を通して、生徒の成長も見られている。	3.0	3.5	○漢字検定や英語検定に生徒を積極的に参加させる取組は、大変喜ばしく、生徒のやる気を引き出してもらえるので期待します。
	2 テストに向けた計画的な学習指導・学びたい度の向上【1教科8回以上の単元テストの実施・学びたい度3項目以上高評価】	今年度、教科での単元テストを導入し、細かな段階での学びの確認や再テストによる個別指導を取り入れた。各教科で実践を重ね、年4回の校内テストや校外での実力テスト等でも少しずつ効果を上げている。市が行う3年生向けの「学びたい度」アンケートも、4項目全て高評価だった。			○「学びたい度」アンケートは、進路にもつながる1つの目安にもなり、良いですね!! ○漢検、英検への挑戦を中学時代から実践!! 実に素晴らしい!!
	3 個別最適な学習と協働的な学習の融合を図るICT機器の活用【効果的な授業実践例1教科1例以上提案】	今年度の研究主題を、生徒の理解度に合わせた学習と互いに学び合い高め学習との両立を意識して取り組んだが、生徒の学習意欲や学習態度に個人差が大きく見られるため、タブレットの活用も含め今後も見直しを図りつつ、よりよい授業のあり方について研究を継続していく予定である。			○個人の意欲が理解度、性格に合わせて、誰ひとり取り残さない教育をかかげて、単元テストや再テスト、個別指導と先生たちの努力を感じます。ひとりひとりに目を向けてくださり感謝します。
	4 家庭と連携した効果的な家庭学習の推進・検定試験への挑戦【宅習のめあて提示週5日以上と木曜日の家庭学習1人1例紹介・英検、漢検挑戦者8割以上】	今年度の国語科担当、英語科担当の頑張りが功を奏し、漢字検定と英語検定の受験率が飛躍的に向上した。宅習についてはマンネリ化が見られるため、今後家庭学習の仕方については改善が必要である。今年度より導入したデジタルドリルにも、授業や家庭でさらに取り組む工夫を検討していきたい。			○保護者からの応援メッセージの取組は大変良いと思います。中学校になると親との会話や相談も少なくなり、悩みも多くなる（親も子も）とも聞きます。応援メッセージで親の思いを知り、大きな励みになると思います。
徳育	1 複数指導体制での心の教育の実施【朝の会・給食・帰りの会等1日3回以上、道徳・学活週1回以上の複数指導体制実施】	生徒を「誰一人取り残さない」という学校経営ビジョンのもと、学年担当職員には複数で朝の会、帰りの会、給食指導等を依頼している。副担任による道徳や学活の授業、校長や教頭による英語や数学の個別指導も実施し、生徒や保護者の要望にも可能な限り細やかに対応している。	3.3	3.8	○花壇の手入れを生徒会ボランティアで行っている事、花を育てるという美しい心を学ぶ場でもあり、とても良い事ですネ!! ○1年生の新村花壇の植栽とゴミ拾い、今年度は分別まで大変な作業ありがとうございました。
	2 SST（ソーシャルスキルトレーニング）による社会性・協調性の育成【年6回以上の実施】	今年度は、毎週火曜日に生徒主体の活動の時間である「紙屋タイム」を位置づけ、積極的な生徒会活動を展開した。SC（スクールカウンセラー）にSSTの講義を依頼し、生徒の社会性・協調性を磨く実践を行い、好評である。			○「ゴミは捨てる側ではなく拾う側」になりますって嬉しいですね!! また、高妻神社の清掃も、毎年ありがとうございました。
	3 地域との連携を図ったボランティア活動や花づくりの充実（ボランティア・花づくりの充実【生徒全員週1回以上実践】	中央委員会のボランティア活動の1つとして、毎朝登校後に、生徒会がグループ分けした生徒たちが、花壇の手入れを行っている。今年度は県の「人権の花」の指定を受けたこともあり、毎週水曜日に花壇活動の時間を設け、自主的な花の管理をさらに意識して活動することができた。			○校長先生や教頭先生による個別指導や全職員でのあらゆる場での指導は保護者も生徒も有難いと思います。一生懸命に指導される姿が、自分達も頑張ろうと思う意欲につながると思います。
	4 主体的な生徒会活動（自立と自律、SDGsの達成に向けた取組等）【1人1リーダー・地域と連携した4R活動実践年3回以上】	学校経営ビジョンに掲げた「自立」と「自律」を意識させるため、校長も交えた生徒会執行部会を月1回開催するようにした。循環型環境教育の指定を受けたことで、昨年度より取り組んでいるSDGs達成の取組を、今後も持続可能な活動として位置づけることができた。			○文化発表会を通してSDGsの取組が良くわかりました。「私ならこういうことができる」とひとりひとりが考えられるようになり、大変嬉しく思いました。こういう取組が将来にもつながっていくと思います。是非、継続してください。 ○地域の中に積極的に生徒が関わる事で郷土愛も育ち、地域の方々も子どもたちを大事に見守って行こうという気持ちになられると思います。
体育	1 新体力テスト結果に基づく個別の体力向上水準の向上【弱点克服のエクササイズを週1時間以上体育の授業で実施】	昨年度より体育専門の教科担当が着任し、体育の時間に弱点克服のエクササイズを各学年で内容を変えて行うことができた。体力テストの結果や、体育の授業への意識が向上している。	3.4	3.8	○学年を越えて全校生徒が仲良いことは、合同運動会や持久走、駅伝大会等を見てもよく判る。
	2 虫歯治療率75%以上、給食残食・朝食欠食ゼロと適正体重維持・健康的な視力の維持【目の運動の実践年1回以上】	保健主事の丁寧で熱心な働きかけにより、給食残食ゼロと朝食欠食ゼロはほぼ達成されている。虫歯治療率75%以上も、あとわずかで達成される見込みである。			○「みんなで遊ぶ日」素敵な取組だと思います。学年関係なく遊ぶ事で関係性が深まり、地域の絆が強くなるのではと思います。ぜひ、これからも続けてください。
	3 立腰での精神バランス感覚向上【毎時間2回以上の立腰指導】	授業開始時と終了時、または集会時等に立腰を促してはいるものの、時間が経つと下を向いたり姿勢が悪くなったりする生徒が数名いる。今後は話を聞く態度も含めて指導を強化していきたい。			○生徒会主催の「みんなで遊ぶ日」の実践とは誠に素晴らしい取組ですネ!! ○少人数校だからできる皆仲良く共に学び合う事、良いですね!!
	4 いじめのない仲間づくりの推進（みんなで遊ぶ日・縦割り花壇活動等）【「みんなで遊ぶ日」年3回・花壇活動週1回以上】	生徒会主催の「みんなで遊ぶ日」を数回実施することができ、学年を越えて全校生徒が仲良く遊ぶ姿が見られた。今年度は学校の主題研究として、紙屋タイムに対話を通して社会性を育てる活動を積極的に実践した。			○「みんなで遊ぶ日」の取組はとても良いと思います。子どもたちが意欲を出し合い、楽しい思いを共有し、1人ひとりを認め合う姿が素晴らしいと思います。 ○体育の時間に弱点克服のエクササイズを行っているとの事。とても楽しそうで意欲が出ますね。自然に体力もついてきて、元気な体で何でも挑戦する力にもなると思います。

食育	1 命を大切にする安全指導の充実【安全点検といじめアンケート月1回実施と年3回の教育相談実施】	安全点検は担当が月に1回確実に実施し、学校用務員と連携して確実な修繕に繋げることができた。自分の命を大切にしSOSを出せるようにする授業では、SC（スクールカウンセラー）が紙屋タイムに授業を実施し、具体的なスキルを学ばせることができた。	3.4	3.5	○昔は家族全員の夜の食事や風呂焚き、生き物の世話全般を子供がするのが当然だったが、今はその1つ1つを学校で技能指導されてるという事に驚きです。学校の先生方は大変だ～!! ○防災訓練とても良い事をされましたネ!!また、声かけ学習（認知症）の計画もあるとか…9月の防災フェスタも楽しみです。よろしくお願いします。 ○1人で悩まず、自分の命を大切にする事は本当に大切だと思います。スクールカウンセラーの授業やその存在は大変有難いと思います。生徒が小さな事でも相談に行き、快適に学校生活が送れると思います。 ○田植えや稲刈りなどなかなかできない貴重な経験で良い思い出になると思います。準備等、大変だと思いますが、是非続けてほしいと思います。
	2 年2回の弁当の日の充実と食育の推進【自分で作る・家族と作る弁当率70%以上】	食育担当が学校給食センターや栄養教諭と連携し、弁当作りの実践や給食感謝月間などを確実に実施した。今年度は家庭科担当も生徒にできるだけ自分で食事を作る技能を身につけさせるよう、調理実習を増やして指導することができた。			
	3 田植え・稲刈り体験による「食」への感謝の気持ちの育成【もちつきも含め年3回実施】	地域コーディネーターと教頭が連携し、担当の保護者や地域の方々に草刈り等の協力を得ながら、貴重な田植えや稲刈りの体験をすることができた。学校田の維持には保護者の協力が不可欠であるが、今後も可能な限り続けていきたい。			
	4 自分の命を守る力を育成する防災教育の充実【防災に関する訓練年3回以上実施】	今年度は新しく紙屋保育園、紙屋小学校と連携し、防災時の保護者への引き渡し訓練を5月に行うことができた。来年度は地域と連携し、9月に防災フェスタを中学校でも開催する予定である。			
その他	1 全教職員の育成としての年間目標の確認と個人の役割の確認（目標設定・中間ミーティングを通して自分の役割1人1実践以上）	年度当初、職員向けに学校経営目標の見直しをしてもらい、今年度新しい視点を取り入れた方針を打ち立てることができた。個別ミーティングでも、個々の役割を確認し、実践を促すことができた。	3.5	3.8	○校務のみでなく、他の事にも目配り、気配りをされている校長、教頭先生方の明るさが、校内全体の活力につながっていると確信してます!!感謝なり～!! ○生徒ひとりひとりにより良い授業や関わりをもてるよう全職員で取り組まれている姿が良くわかります。本当に有り難うございます。 ○働き方改革は、先生たちが疲れていては、より良い指導はできないので是非、継続してください。
	2 教職員の学びの場の拡大と外部機関の積極的な活用（人1回以上外部研修受講or生徒・職員向け研修実施）	教頭より、全職員に対し校務に関わる研修会に積極的に参加するよう促し、全職員が校外での様々な学びを深め、研鑽を積むことができた。職員研修の時間に報告会も行い、学びを共有できた。			
	3 全職員が関わる初期研修の充実（1人1講座以上担当）	新規採用職員の校内での初期研修を行うにあたり、全職員で関わりながら内容を充実させることができた。今年度は、学級活動と総合的な学習の研究授業を実施し、様々な視点から示唆を得ることができた。			
	4 教職員の働き方改革と教育の質の向上（月の超過勤務45時間以内一人年3カ月以上）	今年度導入した新校時程による毎週木曜日のリフレッシュデーにより、教職員の職務整理の時間が確保でき、働き方改革に大きく貢献している。今後も生徒に向き合う時間の拡大に繋げたい。			
校長所見	【知育】「テストに向けた計画的な学習指導・『学びたい度』の向上」の項目において、生徒・保護者・教職員全てが肯定的な答えとは言えなかった。「あまりできていない」、「ほとんどできていない」と答えた生徒・保護者が若干見られるため、全ての生徒に指導が行き届くよう手立てを講じなければならないと考える。タブレットの有効活用や家庭学習の推進について、保護者の理解が十分に得られていない結果も出ているため、家庭への周知を図る機会を設ける必要がある。 【徳育】日常指導において、学級担任や副担任、仲間と交流を図れていると答えた生徒が多かったことは良かった。「あまりできていない」と答えた生徒が3名いることが分かったので、よりきめ細やかに見守りや声掛けをしていきたい。主体的な生徒会活動についても、生徒会を中心に自分の仕事に責任をもつ指導を推進しているが、「ほとんどできていない」生徒が2名、「あまりできていない」生徒が5名いるため、全員に仕事内容を把握させ、達成感をもたせる工夫をしていきたい。 【体育】本校の生徒の弱点である柔軟性と持久力の向上を図る指導は、生徒や保護者にも浸透しているようである。虫歯をなくし、適正体重の維持を心がける指導も効果を上げている。目の運動の実践については、学校ではかなり盛り上がったと思っているが、生徒や保護者には意図が伝わっていなかったかもしれないので、次回は活動を説明してから実践する予定である。 【食育】月1回のいじめアンケート、田植えや稲刈りに真摯に向き合った様子がうかがえる。弁当作りについては、今年度の調理実習の成果が繋がっていくような指導を心がけていきたい。 【その他】教職員は自分の校務をしっかり理解し、学校経営目標や学年・校務分掌の目標達成のためにそれぞれ努力してくれたと思う。今年度校内外の様々な研修で磨いた力を、今後自分の分野で各々発揮し、学校経営目標の達成に貢献してくれることを期待している。				